

認定社会福祉士認証・認定機構
2017年度 認定社会福祉士特別研修
(実施機関：日本社会福祉士会)
受講者募集要項

〈第二東京会場〉

1. 趣旨

日本社会福祉会は認定社会福祉士認証・認定機構の指定を受け特別研修を開催することになりました。特別研修は、認定社会福祉士の認定申請に必要な要件の一つである、研修履修に関する経過措置対応として開催します。

認定社会福祉士になるためには、次の要件を満たすことが必要です。

- (1) 社会福祉士資格を有すること
- (2) 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること
- (3) 相談援助実務経験が5年以上あること
- (4) 別に例示する実務経験があること
- (5) 認められた機関での研修を受講していること（研修受講20単位及びスーパービジョン実績10単位）

今回の経過措置は、過去の研修履歴を評価し、特別研修を修了することで、「(5) 認められた機関での研修を受講していること」とみなすものです。したがって、今回の経過措置が適用され、上記要件の(1)から(5)までを満たした者は認定社会福祉士の認定申請ができます。

過去の研修履歴とは、ソーシャルワーカーの職能団体が行う生涯研修において180時間(12単位)以上の研修履歴が必要です。認証・認定機構では日本社会福祉士会の生涯研修と日本医療社会福祉協会の生涯研修を対象として認めています。

なお、特別研修の修了をもって認定社会福祉士になれるわけではありません。認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。

2. 特別研修の目的

特別研修は認定社会福祉士認定のための経過措置対応として、修了者には認定社会福祉士と同等の実践力があることを担保することを目的としています。認定社会福祉士認定の本来の要件・水準と同等以上であること、すなわち認定社会福祉士の要件である30単位を取得した者相当以上であり、具体的には研修20単位相当量の研修受講による知識・技術を習得していることを確認し、スーパービジョン10単位相当量の実践力を得ていることの確認を行います。

【認定社会福祉士の定義】

社会福祉士及び介護福祉士法に定める相談援助を行う者であって、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいい、次の各号に掲げる役割を果たす。

- (1) 複数の課題のあるケースの対応を担当する。
- (2) 職場内でリーダーシップをとる。実習指導など人材育成において指導的役割を担う。
- (3) 地域や外部機関との対応窓口となる（窓口として緊急対応、苦情対応などに関わる。）
- (4) 関連分野の知識をもって、他職種と連携する。職場内でのコーディネートを行う。組織外に対して自分の立場から発言ができる。

3. 特別研修の基本フレーム

- (1) 研修8単位分(12単位分は過去の研修履歴を評価)については、支援の開始から終結(もしくは事業の開始から終了)までのレポート提出を求め、共通専門及び分野専門の知識を確認します。
- (2) スーパービジョンについては、支援過程において重要と考える特定場面の出来事(逐語など)とその際の判断や推察を記述したレポートの提出を求め、専門的な技術や根拠をもって適切に判断・行動ができているかどうかを確認します。

4. 特別研修指定実施機関

公益社団法人 日本社会福祉士会

5. 受講対象者

特別研修は、当研修を修了することで認定社会福祉士の認定申請を行う予定がある者を対象に開催します。従って、受講要件は認定社会福祉士の認定要件と同様になります。具体的には次の事項をすべて満たすことが必要です。詳しくは認定社会福祉士認証・認定機構ホームページをご参照ください。

(認定社会福祉士認証・認定機構 HP: http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html)

- (1) 社会福祉士資格を有すること
- (2) 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること
- (3) 相談援助実務経験が5年以上あること(※1)
- (4) 別に例示する実務経験があること(※2)
- (5) 日本社会福祉士会もしくは日本医療社会福祉協会の生涯研修で180時間以上の研修を受講していること(日本社会福祉士会の場合は共通研修課程修了3回以上の方もしくは共通研修課程修了2回+専門分野別研修4単位の方〔別紙『認定社会福祉士の経過的措置対応のための専門分野別研修の単位について』参照〕、ただし共通研修課程修了は申請中を含む。日本医療社会福祉協会の場合は認定医療社会福祉士を取得している方。)

※1 相談援助実務経験の範囲について

①厚生労働省通知で定めた指定施設機関及び職種

↳ http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/files/01_tetsuzuki/koroshu.pdf

②認定社会福祉士認証・認定機構が認める業務の範囲

↳ http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/01_kiko/files/03_sodanenjoitsumukeiken.pdf

なお、認定社会福祉士申請の要件と同様に、社会福祉士資格取得後の実務経験で、かつ過去10年以内の実務経験が対象です。

※2 認定社会福祉士の認定申請時に「実務経験内容」を提出いただきます(認定社会福祉士制度認定規則施行細則参照)。今回の研修受講申込時は不要です。

6. 定員

48名(※原則先着順としますが、定員数を超えるお申し込みがあった場合には、その限りではありません。詳細は、「11. 申込期間」をご参照ください。)

7. 集合研修日程及び会場

集合研修Ⅰ 2017年9月30日(土)～10月1日(日) 全理連ビル(東京都渋谷区)

集合研修Ⅱ 2017年12月17日(日) 未定(東京都内)

8. 受講費

36,000円(事前振込)

9. 懇親会

9月30日(土)18:30頃から研修会会場付近で開催します。(※希望者のみ)

懇親会参加費:4,000円(事前振込)

お申し込みをいただいた場合は、受講決定通知とともに懇親会参加券と詳細をお知らせいたします。

10. 申込方法

(1) 受講申込書

所定の「受講申込書」に必要事項を記入の上、「17. お問い合わせ先／申込先」に記載されている e-メールアドレス宛てに、送付してください。(※申込書の持参は不可)

なお、e-メールでお申し込み後、本会事務局よりお申込書の受領にかかるメールを御返信いたします。返信のメールは2営業日以内に順次お送りいたしますが、自動返信ではありませんのでご了承ください。返信が届かない場合は、通信障害の恐れがありますので、本会事務局にお問い合わせください。

(2) 受講要件を満たしていることが確認できる資料のコピー

本研修の受講要件を満たしていることが確認できる資料として生涯研修修了単位にかかる職能団体の証明書(日本社会福祉士会会員の方は共通研修修了証明書、専門分野別研修については専門分野別研修の修了証、修了証明書もしくは認定証、日本医療社会福祉協会の会員の方は認定医療社会福祉士認定証)のコピーを提出してください。証明書は、受講申込書とともにお送りいただいても、別にお送りいただいても差し支えありません。受講申込書と別に送付される場合は、提出方法の指定もございませんが(e-メールの他、郵送またはFAX可)、『認定社会福祉士特別研修の添付資料』及び『申込先の会場名(例:〇〇会場)』を必ず明記してください。(証明書等は7月18日(火)必着とさせていただきます。)

11. 申込期間

(1) 都道府県社会福祉士会の会員の方

2017年6月21日(水)午前9時30分から7月11日(火)午後5時までお申し込みを受け付けします。
ただし、申込受付開始から6月28日(水)午前9時30分までに、お申し込み数が定員数を超えた場合には、日本社会福祉士会の生涯研修制度により本研修の受講要件を満たした方を優先とします。

(2) 都道府県社会福祉士会の会員以外の方

2017年6月28日(水)午前9時30分から7月11日(火)午後5時までお申し込みを受け付けします。

上記、いずれの場合でもお申し込み数が定員を超えた場合はキャンセル待ちでのご案内となります。なお、申込者数が定員を大きく超える場合には、追加開催を検討する予定です。

12. 受講可否の連絡

受講可否連絡は、8月上旬頃に郵便にて発送します。課題レポート、会場案内、受講費の納入方法、懇親会、キャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内します。

13. 修了要件

集合研修への全出席、全レポート提出は必須です。その上でレポートの内容を評価し修了認定します。

14. 研修プログラム(予定)

自宅学習と集合研修を行います。次頁の研修プログラム(予定)をご参照ください。

15. 認定社会福祉士の認定申請

認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。申請受付期間は認定社会福祉士認証・認定機構のホームページ上の「個人認定について」でご確認ください。

(http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html)

16. 期間延長について

本研修は、2017年度が最終開催となります。そのため、期間延長の措置はありません。

17. お問い合わせ先／申込先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2F

(公社)日本社会福祉士会 [担当:北村(毅)、赤沼]

TEL: 03-3355-6541 FAX: 03-3355-6543 e-mail: kenshu-center@jacsw.or.jp

■研修プログラム（予定）

区分	日程・会場	内容																								
自宅学習Ⅰ	レポート締切 8月31日(木) 消印有効	レポートを作成・提出 1)課題レポート1 理論に関する事前学習レポート 「エコロジカルモデル（生態学的視点）」「システム理論」についての説明（各800字から1000字以内） 2)課題レポート2 「自身の実践支援の開始から終結までの展開過程」 (3,000字程度) 3)課題レポート3 「自身の実践の特定場面における振り返り」 (字数制限無し)																								
集合研修Ⅰ	9月30日(土) ～10月1日 (日) <第二東京>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">1日目</th> </tr> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:00～13:15</td> <td>オリエンテーション 開会挨拶</td> </tr> <tr> <td>13:15～16:15</td> <td>講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：木村 容子氏（日本社会事業大学准教授）</td> </tr> <tr> <td>16:15～16:30</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td>16:30～18:00</td> <td>講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏（武蔵野大学教授）、 新保 祐光氏（大正大学准教授）、 田上 明氏（東京都清瀬喜望園）、 木村 容子氏</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">2日目</th> </tr> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30～12:00</td> <td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏</td> </tr> <tr> <td>12:00～13:00</td> <td>昼食・休憩</td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏</td> </tr> <tr> <td>15:30～15:40</td> <td>閉会</td> </tr> </tbody> </table>	1日目		時間	内容	13:00～13:15	オリエンテーション 開会挨拶	13:15～16:15	講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：木村 容子氏（日本社会事業大学准教授）	16:15～16:30	休憩	16:30～18:00	講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏（武蔵野大学教授）、 新保 祐光氏（大正大学准教授）、 田上 明氏（東京都清瀬喜望園）、 木村 容子氏	2日目		時間	内容	9:30～12:00	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏	12:00～13:00	昼食・休憩	13:00～15:30	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏	15:30～15:40	閉会
1日目																										
時間	内容																									
13:00～13:15	オリエンテーション 開会挨拶																									
13:15～16:15	講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：木村 容子氏（日本社会事業大学准教授）																									
16:15～16:30	休憩																									
16:30～18:00	講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏（武蔵野大学教授）、 新保 祐光氏（大正大学准教授）、 田上 明氏（東京都清瀬喜望園）、 木村 容子氏																									
2日目																										
時間	内容																									
9:30～12:00	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏																									
12:00～13:00	昼食・休憩																									
13:00～15:30	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏																									
15:30～15:40	閉会																									
自宅学習Ⅱ	レポート締切 11月1日(水)	レポート作成・提出 課題レポート4：「自身の実践の特定場面における振り返り ～集合研修Ⅰをふまえて自身の実践を省察する～」																								
集合研修Ⅱ	12月17日(日) <第二東京>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30～10:35</td> <td>オリエンテーション・開会の挨拶</td> </tr> <tr> <td>10:35～11:35</td> <td>講義「集合研修Ⅰの振り返り」 講師：木村 容子氏</td> </tr> <tr> <td>11:35～12:30</td> <td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏</td> </tr> <tr> <td>12:30～13:15</td> <td>昼食・休憩</td> </tr> <tr> <td>13:15～16:40</td> <td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏</td> </tr> <tr> <td>16:40～16:50</td> <td>閉会</td> </tr> </tbody> </table>	時間	内容	10:30～10:35	オリエンテーション・開会の挨拶	10:35～11:35	講義「集合研修Ⅰの振り返り」 講師：木村 容子氏	11:35～12:30	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏	12:30～13:15	昼食・休憩	13:15～16:40	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏	16:40～16:50	閉会										
時間	内容																									
10:30～10:35	オリエンテーション・開会の挨拶																									
10:35～11:35	講義「集合研修Ⅰの振り返り」 講師：木村 容子氏																									
11:35～12:30	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏																									
12:30～13:15	昼食・休憩																									
13:15～16:40	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：渡辺 裕一氏、新保 祐光氏、田上 明氏、 木村 容子氏																									
16:40～16:50	閉会																									

認定社会福祉士の経過措置対応のための専門分野別研修の単位について

認定社会福祉士の経過措置対応との整合のため、2016年度まで旧生涯研修制度の適用期間を延長するとともに、2011年度までに入会された方で、共通研修課程修了申請回数が2回の方への対応として、旧生涯研修制度における専門分野別研修を単位化して4単位まで加算できることとしています。

加算できる単位には、専門分野別研修のほか、認定社会福祉士制度の「分野専門」として研修認証された本会もしくは都道府県社会福祉士会が主催する研修も含まれます。

2016年度までに実施された研修の中で、専門分野別研修に該当する研修及び専門分野別研修へ単位換算のできる研修認証された研修を以下にご案内いたします。

1. 日本社会福祉士会主催

研修名	換算単位	記号番号
成年後見人養成研修【第1期～第11期】	2単位	NH-1
成年後見人養成研修（本会通信研修）【2009年度～2014年度】	2単位	NH-2
成年後見人養成研修（支部委託研修・委託集合研修）【2006年度～2016年度】	2単位	NH-3
障害者の地域生活支援研修【第1期～第5期】	2単位	NH-4
独立型社会福祉士養成研修【第1期A研修、第2期A研修、第3期、第4期】 ※第5期以降は共通研修課程に位置づけられた研修のため対象外です。	2単位	NH-5
独立型社会福祉士養成研修【第1期B研修、第2期B研修】	0.5単位	NH-6
保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修【第1期～第13期】	2単位	NH-7
第1期現場実習指導者養成研修【第1期】 ※2008年度以降開催の研修会は、共通研修課程に位置づけられた研修のため対象外です。	2単位	NH-8
虐待対応専門研修（現任者コース）【第1期、第2期】	2単位	NH-9
虐待対応専門研修（アドバイザーコース）【第1期～第6期（2016年度）】	2単位	NH-10
自立に向けての就労支援～就労支援研修～【2007年度、2008年度】 ※2009年度、2010年度は共通研修課程に位置づけられた研修のため対象外です。	1.5単位	NH-11
★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修【2012年度～2015年度】 ※試行研修、2010年度、2011年度は、認定社会福祉士研修認証前のため対象外です。	1単位	NH-12
★滞日外国人ソーシャルワーク研修【2013年度～2015年度】 ※2009年度、2010年度は、認定社会福祉士研修認証前のため対象外です。 また、2013～2015年度実施の研修会でも認定社会福祉士制度の研修単位取得に必要な修了課題を提出し、合格していない場合は対象外となります。	1単位	NH-13
★災害支援コーディネーター養成研修【2013年度、2014年度】 ※2012年度は、認定社会福祉士研修認証前のため対象外です。	1単位	NH-14
★リーガル・ソーシャルワーク研修【2014年度～2016年度】	1単位	NH-15
★認定社会福祉士スクールソーシャルワーク研修【2015年度、2016年度】	1単位	NH-16
★障がい者の地域生活支援研修【2015年度、2016年度】	1単位	NH-17

★レジデンシャル・ソーシャル研修【2016年度】	1単位	NH-18
★災害支援活動者養成研修【2016年度】	1単位	NH-19
★子ども家庭支援ソーシャルワーク研修【2016年度】	1単位	NH-20
★自殺予防ソーシャルワーク研修【2016年度】	1単位	NH-21

2. 都道府県社会福祉士会主催

以下に掲載している研修会は、認定社会福祉士制度の「分野専門」として研修認証された都道府県社会福祉士会主催の研修会です。研修会の開催日や研修認証の有効期間内にある研修かどうか等の詳細は、研修を主催する都道府県社会福祉士会にご確認ください。
(都道府県順)

県士会名	研修名	研修認証番号(注2)	換算単位	記号番号
北海道	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160005	1単位	HD-1
埼玉	★成年後見人養成研修	20140041	2単位	ST-1
千葉	★刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(基礎編) (旧：司法福祉連続研修)	20130006	1単位	CB-1
	★刑事司法ソーシャルワーカー養成講座	20150008	1単位	CB-2
東京	★エンパワメントアプローチ基本演習	20130079	1単位	TK-1
	★エンパワメントアプローチ演習(学校コーチング)	20130081	1単位	TK-2
長野	★福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修	20160010	1単位	NN-1
静岡	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160001	1単位	SO-1
愛知	★スクールソーシャルワーカー養成研修	20130031	1単位	AC-1
岐阜	★スクールソーシャルワーク研修	20130002	1単位	GF-1
京都	★スクールソーシャルワーカー養成研修	20140040	1単位	KT-1
大阪	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160006	1単位	OS-1
	★司法ソーシャルワーク研修	20160007	1単位	OS-2
兵庫	★高齢者虐待対応研修	20150007	2単位	HG-1
	★成年後見人養成研修	20150017	2単位	HG-2
	★滞日外国人ソーシャルワーク研修	20160008	1単位	HG-3
福岡	★地域包括ケア推進基礎研修、地域包括支援センター総合相談・権利擁護研修、地域ケア会議実践研修	20130032	1単位	FO-1
	★児童家庭福祉論	20130033	1単位	FO-2
	★医療ソーシャルワーク論(理論編)	20130034	1単位	FO-3
	★医療ソーシャルワーク論(地域生活支援)	20130035	1単位	FO-4
	★医療ソーシャルワーク論(脳血管疾患患者支援編)	20140054	1単位	FO-5
	★在宅障害者支援(身体・知的・精神)	20140007	1単位	FO-6
	★老年心理学～臨床現場の振り返りを踏まえて～	20140053	1単位	FO-7

	★高齢者地域支援研修	20140023	1 単位	FO-8
	★成年後見人養成研修	20140024	2 単位	FO-9
	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160009	1 単位	FO-10
佐賀	★成年後見人養成研修	20130065	2 単位	SG-1
	★罪を犯した高齢者・障害者支援研究	20150014	1 単位	SG-2
	★生活困窮者自立支援研究	20150015	1 単位	SG-3
大分	★「地域包括ケア」構築に向けたネットワーク実践力養成研修	20160017	1 単位	OI-1
宮崎	★成年後見人養成講座	20150011	2 単位	MZ-1
鹿児島	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160011	1 単位	KG-1

(注1) ★印の研修について

認定社会福祉士制度の分野専門の研修として認証された本会および都道府県社会福祉士会主催研修の単位は、専門分野別研修の単位とすることができますが、認定社会福祉士の経過措置のために専門分野別研修の単位として申請した研修は、旧生涯研修制度の共通研修課程修了申請の単位、また、新生涯研修制度の専門課程修了申請の単位とすることはできません。

(注2) 研修認証番号

認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修会には、必ず「研修認証番号」があります。ご自身の参加された研修会が、上記一覧の認証された研修に該当しているか否かについては、お手元にある修了証に記載された研修認証番号をご確認ください。